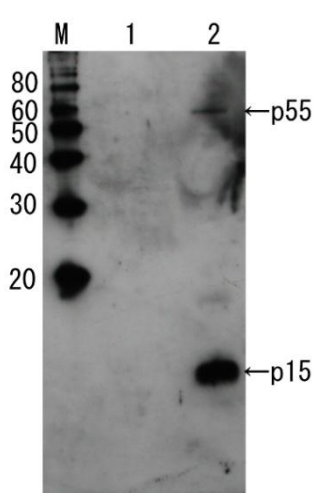


抗 HIV-1 Gag p15 抗体、ウサギ抗血清

商品コード	65-011
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.09% アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	大腸菌で発現させて精製したリコンビナント HIV-1 Gag p15
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	HIV-1 Gag p15
アプリケーション	HIV-1 p15 の検出や定量を目的としたウェスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。
背景	HIV-1 Gag p15 は、前駆体である Gag p55 から HIV-1 のプロテアーゼにより切断されて生成する。このタンパク質は、さらにヌクレオカプシド蛋白質 p7 と機能不明の p6 および p1 に切断される。この切断は、p7 の領域に存在する 2 つの Zn フィンガーモチーフによる HIV-1 ゲノムの RNA との結合によって促進する。また、生成したヌクレオカプシド p7 蛋白質は、HIV-1 ゲノムの RNA と直接結合することにより、RNA の機能を調節している (1)。 本品は、HIV-1 ウイルスゲノムの <i>gag</i> 領域にコードされている p15 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したリコンビナント Gag p15 をウサギに免疫して作製した (2)。 本品を抗血清として用いたウェスタンブロットにおいて、エイズウイルス感染細胞抽出液中に HIV-1 Gag p15 の 15 kD のバンドおよび前駆体 p55 の 55 kD のバンドが検出された (図 1)。
Data Link	GenBank: AAA44988.1
画像	 図 1 抗 HIV-1 p15 抗体を用いたウェスタンブロット法による p15 抗原の検出 レーン 1: MT4 細胞抽出液 レーン 2: HIV-1 (LAI 株) 感染 MT4 細胞抽出液 抗血清は 1,000 倍希釈して使用
文献	1. Freed EO "HIV-1 gag proteins: diverse functions in the virus life cycle." <i>Virology</i> 251:1-15 (1998) Review PMID: 9813197 2. Saito A <i>et al</i> "Overproduction, purification, and diagnostic use of the recombinant HIV-1 Gag proteins, the precursor protein p55 and the processed products p17, p24, and p15." <i>Microbiol. Immunol.</i> 39:473-483 (1995) PMID: 8569532
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	